

【連絡先】

〒980-0021

仙台市青葉区中央4-1-6

TEL/FAX 022-224-1825

【事務所】

〒981-0952

仙台市青葉区中山4-6-34

TEL/FAX 022-279-5255



元気  
アップ!  
仙台!!

仙台市議会議員 (青葉区)

加藤けんいち

平成30年8月号

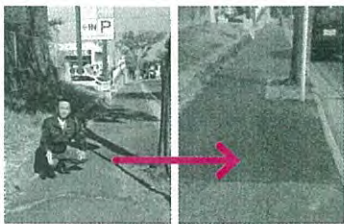
<http://www.katoken-sendai.com>

## 暮らしに夢を！子どもたちに未来を！

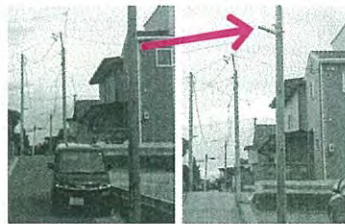
平成30年度が始まりました。昨年8月奥山市長から郡市長に交代し1年が経過します。平成30年度は郡市長のもと初めての予算編成となり議会においても纒々議論をさせて頂きました。新規事業として、いじめ対策をはじめとした教職員の多忙化解消や、保育・子育て環境の充実など、子ども子育て等福祉施策に手厚く配分されたことは評価しつつも今後の仙台市の財政見通しを鑑み、各種制度を安定的に継続するためには経済政策等の歳入確保に向けた施策にも軸足を置く必要があると考えます。引き続き10年後20年後を見据えた仙台の都市を創造しつつ議論してまいりたいと思います。皆さまとお約束させて頂いた取組みである「子どもたちの健やかな成長を守るための子育て支援」「教育環境の整備と健全育成の充実」「地域コミュニティによるまちづくり」「高齢者とその家族が快適に生活できるよう介護サービスの充実」等々、安心して暮らせる都市(まち)づくりに向けて引き続き誠心誠意取組んでまいります。



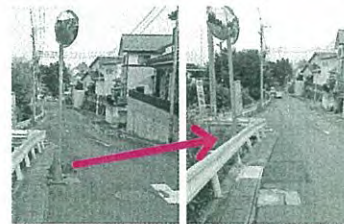
### みなさまから頂いた声を反映しております



根上り改修 (安全対策)  
中山7丁目地内



街路灯整備 (防犯対策)  
滝道地内



カーブミラー移設 (安全対策)  
中山2丁目地内



ピクトグラム整備 (安全対策)  
上杉地内3ヶ所 (自転車走行帯)



カーブミラー設置 (安全対策)  
堤通雨宮地内



バス停屋根の設置  
中山六丁目上りバス停



道路修繕 (通学路安全対策)  
作並小学校入口



街路灯整備 (防犯対策)  
熊ヶ根駅付近



# 第1回定例会が開催されました

2月13日から3月14日にかけて仙台市議会第1回定例会が開催されました。今回の定例会では条例案33件、人事案件4件、その他案件12件、平成29年度補正予算12件、平成30年度当初予算17件の計78件の審議が行われ継続審査1件を除き可決しました。条例案件では、住宅宿泊事業法の制定を考慮し同法の施行に関し必要な事項を定める「仙台市住宅宿泊事業法の施行に関する条例」いわゆる民泊に関わる条例等審議可決。人事案件では新副市長と新教育長の選任を確認。新市長のもと初めて提出された予算の主な内訳としては、いじめ防止対策推進13億4,400万円、教職員の多忙化解消推進14億6,500万円、すこやか子育てプラン推進623億1,800万円、子どもの貧困対策1億900万円、文化振興4億7,300万円、中小企業経営基盤強化1億2,600万円、防災環境都市づくり推進4,900万円、低炭素都市づくり等推進6億9,200万円、防災減災対策推進2億8,200万円等々、一般会計合計で5,390億3,200万円について審議可決いたしました。



## 第1回定例会において「一般質問」を行いました【主な質疑】

### ワンストップコールセンターの設置について

**問** ワンストップコールセンターの設置は市長の決断で実現可能な事業であり、横浜市・札幌市の他、京都市・大阪市・千葉市・相模原市など多くの政令指定都市で設置している。「人」という切口で各般の施策を実施していく郡市長にとって、ワンストップコールセンターは「市民」を大切にすると郡カラーともいえる事業になるものと考察するものであり設置について提案する。

**答** 市長：市長に就任して以来、様々な現場への訪問などをする中で、改めて本市の業務が市民の皆様の暮らしの隅々まで関わっており、その担当部署も多岐にわたっていると実感しております。また、「市長への手紙」などを拝見し、市民の皆様が市政に対し様々な思いをお持ちだということも、日々受け止めているところでございます。このような点からも、市民の皆様から直接お問い合わせいただくコールセンターは、皆様にご不便をお掛けすることなく、ワンストップでお答えするとともに、貴重な市民の声を市政に反映できるものであります。新年度には、全庁的な検討体制を整え、本市が導入するとした場合の具体的な事業手法を想定し、様々な角度から検討を進めてまいりたいと存じます。

### 東北放射光施設建設に向けた対応について

**問** 放射光施設建設にあたっては近隣の松島町や大郷町など5つの候補地から交通アクセスや産学連携の可能性が評価され本市が最適地となった経過があり、これまで積極的に候補地として取り組んできた自治体の期待に報いるためにも、研究成果を製品化する生産施設の企業誘致に向けて宮城県や近隣自治体と連携のもと取り組むことも必要である。放射光が創る将来像は必ずや本市の未来を担う施設になるものと考察するが本市の果たす役割について市長の所見を伺う。

**答** 市長：放射光施設の整備は、本市はもとより、東北全体の経済成長の牽引役となるものであり、立地候補地の基礎自治体として、財政面での支援を実施するとともに、6月に予定されている建設地の決定に向け、関係機関と連携した取り組みを強めてまいりたいと考えております。放射光施設の整備が実現した折には、研究開発施設をはじめとした様々な企業の立地が進むことが期待されます。今後、工場のような生産施設の誘致につきましたは宮城県と連携するなど、本市への放射光施設立地による経済効果が、広く県内、東北全体に波及するものとなりますよう、私も積極的に取り組んでまいりたいと存じます。

### 東北大学農学部雨宮キャンパス跡地利用について

**問** 雨宮キャンパス跡地利用の課題については、地域住民に多大な影響を与えることが懸念されることから何度も取り上げてきた課題である。解体工事が平成30年7月まで延長となったが、解体工事の遅れは今後の開発に大きな影響を与えかねない。昨年7月に実施された雨宮キャンパス跡地利用計画の説明会では、建築工事予定期間は平成30年度～平成31年度とし供用開始予定を平成31年9月からとしていたが、この計画に変更は生じるのか？事業者側との綿密な情報交換と市民に対する周知を求める。

**答** 都市整備局長：雨宮キャンパス跡地での解体工事の期間に7か月程度の延長がございました。これに伴い、商業施設の開業時期も含めた事業全体のスケジュールについて、現在、事業者において調整中であると伺っております。本市といたしましては、これまで事業者に対し、地域の皆様への説明を丁寧に行うよう要請し、適宜実施いただいております。今後とも情報の把握に努めるとともに、地域の皆様への十分な情報提供について、事業者に指導してまいりたいと存じます。

**問** 平成28年4月に開催された説明会では、交通渋滞の緩和などから主に自動車の出入口は北六番丁通で行い敷地内に自動車用通路を設置して商業施設までアクセスする計画であったが、新たな施設配置計画では、愛宕上杉通側の出入口も北六番丁通側出入口と同様の役割を果たす位置づけになったように見受けられる。この道路は朝夕の渋滞は承知の事実であり、特に多くの児童生徒が通学路として利用している。歩行者の安全確保と周辺交通への影響抑制に向けて事業者側と早急の対応を求める。

**答** 都市整備局長：現在、事業者と本市を含む関係機関において、主な交通処理機能を担う北六番丁通へ出入りする交差点について、詳細な協議を進めております。それを補うための愛宕上杉通への出入口や駐輪場の配置などについては、今後の建築計画の検討と併せ、継続して協議を進めることとしております。今後とも、歩行者や自転車の安全を確保し、周辺交通への影響を可能な限り抑制できる事業計画となるよう、事業者に指導していくとともに、その内容について、地域の方々に丁寧に説明するよう働きかけてまいります。

**問** 既存樹木の取扱いについて、事業者が示した緑化計画では事業計画に支障のない範囲で存置あるいは敷地内へ移植する方向で検討するとされている。雨宮キャンパス内には約2,800本の樹木を有しているが、うち低木1,400本と土壌処理範囲の高木400本は伐採する計画と伺った。解体工事の支障にならない高木等残りの1,000本の計画はいかにしているのか？緑化計画についても当局は既存樹木の保存・活用について事業者と協議し指導していく旨答弁してきている、この点について伺う。

**答** 建設局長：雨宮キャンパス跡地の既存樹木については、当初、保全の検討対象は約1,000本とされておりましたが、解体工事着手にあたって樹木調査を行った結果、現時点で保全可能な樹木は最大でも約750本であり、今後さらに、保全可能性の調査を進めていく予定と伺っております。今後も引き続き、既存樹木と新たに植栽する樹木が一体となった、緑豊かで潤いある空間の形成が図られるよう指導してまいります。



## 第2回定例会が開催されました

6月7日から6月22日にかけて仙台市議会第2回定例会が開催されました。今回の定例会では条例案5件、人事案件2件、その他案件4件、平成30年度補正予算1件の計12件の審議と、継続審査となっていた第60号議案仙台市乗合自動車運賃条例の一部を改正する条例1件の審議が行われ原案のとおり可決しました。条例案件では、特定市町村の認定を受けた中小企業者が先端設備等に該当する機器及び装置・工具等を導入した際に3年分の固定資産税を課さない「市税条例の一部を改正する条例」や、医師である保険医による初診の場合に係る非紹介患者初診加算料を改訂する「仙台市病院事業使用料及び手数料条例の一部を改正する条例」、5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者のうち市長が適当と認めたもので研修を修了した者を児童支援員とすることができる「仙台市放課後児童健全育成事業及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例」を審議可決。補正予算では、先進的な農業経営の確立に資するため農業者が農業用機械・施設等を導入する際に対し助成する「農業担い手総合支援事業費用の追加」2,800万円について審議可決いたしました。



## 第2回定例会において「一般質問」を行いました【主な質疑】

### 東北放射光施設がつくる将来への期待について

**問** 官民地域パートナーシップへの応募は本件のみで全国で唯一の候補地となった、5月15日には提案内容を審査する文部科学省科学技術学術審議会の小委員会メンバーによる整備候補地の現地調査も実施されまもなく審査結果が公表されることとなるが市長も現地調査に立ち会われたと伺った、選定に向けた手応えを伺う。また、大型放射光施設を理解を深めるため1997年に供用を開始した兵庫県のSPring8を視察させて頂いた。当局は大型放射光施設を視察されたことはあるのか？先進事例の調査研究を求めるがいかがか。

**答** 市長：先月実施されました国の有識者会議の現地調査には、私も出席をさせて頂きまして、放射光施設を整備する上での立地面での優位性、条件の良さとともに、地域としての受け入れ体制ですとかそれから周辺への産業集積に向けた強い意欲をしっかりとアピールをさせて頂いたところまでございまして、委員各位にもその思いというのは十分にご理解いただけたのではないかとこのように思っております。誘致に当たりましては、現時点では担当局も含めて実際の施設に赴いての調査というは行ってないんですけども、国内外の放射光施設における学術研究と産業利用の実例、それからまた産学官の施設集積の状況等に係る調査などを行ってまいりたいと思っております。仙台や東北の経済への効果を最大限波及させる上では、こういった先進事例についての調査研究をして、本市における施策などへの検討を深めることが重要だというふうに思っておりますので、仙台への立地、これが正式に決定された場合には、先行する他地域の視察など、さらなる調査研究を進めてまいりたいというふうに思います。

**問** 東北放射光施設の特徴は東京から1時間40分というアクセスの利点にある。研究施設・生産施設の誘致に向けて県外から本市に立地する企業や地場産業を営む市内企業も活用できる優遇制度などの整備を求める。また、東北放射光施設のもう一つの特徴は産学官と地域が連携しリサーチコンプレックスの形成を目指している点である。このリサーチコンプレックス形成を加速するには官民と地域の連携のため本市の役割が最も重要であると考察するが改めて本市の果たす役割について所見を伺う。

**答** 経済局長：今回の放射光施設の特徴は、東北大学の敷地内に設置されることであり、隣接する東北大学青葉山サイエンスパークに、大手企業や市内をはじめとした東北の企業の研究開発施設が集積し、リサーチコンプレックスが形成されることが期待されます。本市が構築している産業界や学術機関とのネットワークや産学官連携事業、企業誘致の実績等も最大限に活かすことにより、各関係機関とともに、地域内外からの研究開発施設の誘致等に積極的に取り組んでまいります。併せて、リサーチコンプレックスの形成が図られるよう、企業立地促進助成制度を拡充すること、また、本市が5億円を拠出した場合に得られます施設利用権の一部をインセンティブとして付与することについて検討を行っているところでございます。

### 中学校の部活動について

**問** 本年度新規予算として「部活動指導員の配置」が計上された、単独で指導を担うことができる指導員を非常勤嘱託職員として任用の上、各区1校をモデル校として検討を進めていると伺っているがモデル校の選定方法・部活動指導員の人選など今後の取組みとスケジュールについて伺う。また、大阪市では本年度より「部活動指導員方式」を導入され5月から実施していると伺ってきた、生活指導や部活動指導全般にわたることもあり子どもたちとの信頼関係が最も重要なことから、指導員の人選にあたっては、これまで外部指導者としてあたってきた経験者を任用されている。本市が本年度進めようとしている「部活動指導員の配置」の先行事例でもあり参考とすべきである。

**答** 教育長：本市においては、今年度運動部活動推進モデル校に委嘱しております5校にそれぞれ3名程度配置する予定としております。現在、指導員の任用条件、職務内容等を検討しながら人選を進めているところであり、10月頃を目途に配置したいと考えております。大阪市の制度につきましても、非常勤職員としての任用、外部指導者としての経験、国の補助金の活用等、本市の考え方と共通する点がございまして、現状と課題などの情報も収集し、本市の制度導入の参考にしてまいりたいと存じます。

**問** 文部科学省は本年3月「運動部活動のあり方に関する総合的なガイドライン」を公表した、表向きは成長期にある生徒が運動・食事・休養や睡眠のバランスのとれた生活を送れるようにと詩っているが、教員と生徒のどちらに軸足を置いたガイドラインなのか甚だ疑問を感じる。宮城県においても、国のガイドラインを受けて本年3月に「部活動での指導ガイドライン」が作成されたが国のガイドラインより更に厳しい基準を示している。本市のガイドライン作成にあたっては、生徒や教員など現場の声を聴くべきである。また、やる気のある子どもたちの活動を制限することなく子どもたちのニーズに応えられるガイドラインとなるよう強く求める。

**答** 教育長：部活動の実施にあたっては、子どもたちのバランスのとれた生活や成長に配慮することが重要であると考えております。また、子どもたちの願いも、競技力、技術力向上だけでなく、楽しめること、適度な頻度で行える活動の要望など様々でございますことから、先月、中学校長会へも本市の方針の方向性を説明し各学校現場における状況や課題・疑問等について集約することを依頼したところでございます。現在、各学校において子どもたちのニーズを踏まえながら、ハイシーズンにおける強化練習期間を設定したり休養日を設定するなど、年間を見通した活動を行っていることから、作成中の方針と現状とがかけ離れたものとはならないと認識しております。こうした現状や学校現場からの声も踏まえながら、方針の作成を進めて参りたいと存じます。





○相談ごと・ご意見などお寄せ願います。

---



---



---



---



---



---



---



---

お名前 \_\_\_\_\_ ご住所 \_\_\_\_\_ 電話番号 \_\_\_\_\_

### 青葉区内の主な新年度事業

◎ふるさと底力プロジェクト **2,479千円**

- ・中山郊外住居モデルプロジェクトとして、中山地域における少子高齢化の進展に伴う地域課題解決のため地域主体のプロジェクト推進を支援
- ・宮城地区西部活性化事業として、地域の魅力向上の取り組み、住民の地域への愛着の向上や定住・交流人口増加、地域活性化を図るため作並・新川地区活性化事業を推進する。

◎地域コミュニティ推進 **2,792千円**

- ・マンションコミュニティの形成促進を図る。
- ・町内会の役員担い手不足、高齢化等に対応するため担い手育成講座や啓発事業を行う。

◎地域連携支援 **642千円**

- ・町内会等自治組織の交流推進と地域活動の活性化を図るため、まちづくり専門家の派遣やパンフレット作成等にかかる支援事業を行う。

◎道路整備 **2,654,926千円**

- ・道路新設改良 — 中山赤坂線、高畑定義線、宮町中江線 他
- ・道路維持補修 — ガス灯改修工事、中山幹線1号線ロードヒーター改修工事 他



改修が進められている  
ロードヒーター工事

◎空家等の適正管理促進 **17,329千円**



### 仙台市議会議員 加藤けんいち

生年月日 昭和43年12月24日

住 所 仙台市青葉区木町通2-6-48-503

“カトケン”は

**安心・安全・安定**な社会をつくれます。

『**安 心**』して暮らせる**まちづくり**

『**安 全**』でやすらぎある**住みよい都市づくり**

『**安 定**』した市民生活を**支える都市づくり**

